

令和5年度福井市決算状況 及び 福井市財政再建計画の総括

※財政再建計画(平成30年度～令和5年度)を基本として福井市財政計画(令和4～8年度)を作成しており、その取組について概ね踏襲している。令和5年度の決算までは財政再建計画時の目標額について、結果を財政健全化専門部会に報告する。

1 決算概要

令和5年度普通会計決算状況

(千円)	R5	R4	R5-4 増減	H29(基準)
歳入	135,786,456	126,286,682	9,499,774	109,538,693
歳出	132,826,885	123,932,287	8,894,598	108,793,188
形式収支	2,959,571	2,354,395	605,176	745,505
繰越財源	768,276	389,406	378,870	885,052
実質収支	2,191,295	1,964,989	226,306	△ 139,547

2 性質別決算

歳入(千円)	R5	R4	R5-4 増減	H29(基準)
市税	45,424,092	45,058,422	365,670	44,465,038
地方交付税	14,082,847	13,213,456	869,391	10,904,041
交付金等	9,935,825	9,777,246	158,579	6,883,642
分担金・負担金	212,838	176,087	36,751	444,718
使用料・手数料	1,189,315	1,239,250	△ 49,935	1,546,172
国庫支出金	29,593,126	27,361,454	2,231,672	16,358,952
県支出金	11,708,447	10,896,167	812,280	8,967,454
財産収入	260,244	119,114	141,130	226,805
寄附金	489,910	409,243	80,667	62,692
繰入金	1,094,633	1,043,311	51,322	3,562,048
繰越金	2,354,395	4,094,497	△ 1,740,102	1,310,055
諸収入	3,290,500	3,393,954	△ 103,454	3,239,243
市債	16,150,284	9,504,481	6,645,803	11,567,833
合計	135,786,456	126,286,682	9,499,774	109,538,693

歳出(千円)	R5	R4	R5-4 増減	H29(基準)
人件費	18,664,485	19,141,593	△ 477,108	18,012,615
扶助費	33,053,014	31,014,805	2,038,209	25,448,892
公債費	13,833,697	14,941,440	△ 1,107,743	12,924,530
物件費	15,683,997	16,253,919	△ 569,922	13,503,300
維持補修費	1,373,238	2,290,606	△ 917,368	4,896,417
補助費等	10,782,417	10,500,059	282,358	8,792,351
繰出金	9,441,669	9,723,132	△ 281,463	9,970,275
投資及び出資金	120,072	239,860	△ 119,788	128,968
貸付金	963,159	970,781	△ 7,622	1,593,905
積立金	1,313,519	659,678	653,841	7,303
投資的経費				
普通建設事業費	27,119,547	17,708,402	9,411,145	13,330,187
災害復旧費	478,071	488,012	△ 9,941	184,445
合計	132,826,885	123,932,287	8,894,598	108,793,188

3 財政指標

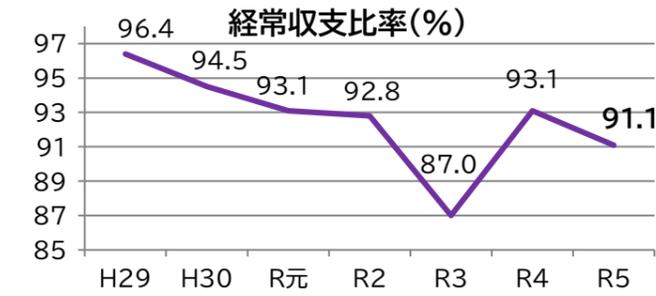
①財政調整基金
 目標 30億円以上
 《参考》財政計画目標
 50億円以上(R8)



R5-R4の増減理由

◆R5.12月補正でR4年度決算剰余金の一部(5億円)を積み立てた

②経常収支比率
 目標 93%以下



◆歳入では、市税収入や普通交付税の増。歳出では、定年引上げによる退職手当や繰上償還による公債費の減により、2.0ポイント減少した

③実質公債費比率
 (3か年平均)
 目標 10%以下



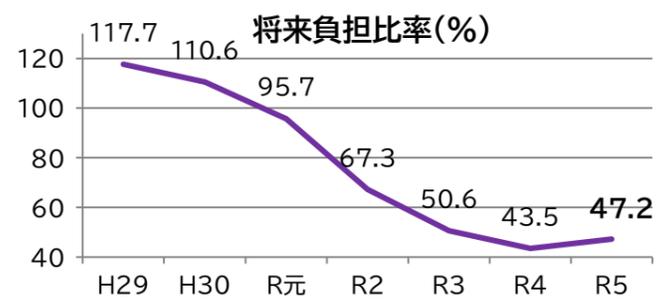
◆R4年度の繰上償還による公債費の減により、0.4ポイント減少した
 ◆単年度の実質公債比率は、9.8%であり、目標を達成した

④市債残高
 目標 850億円以下



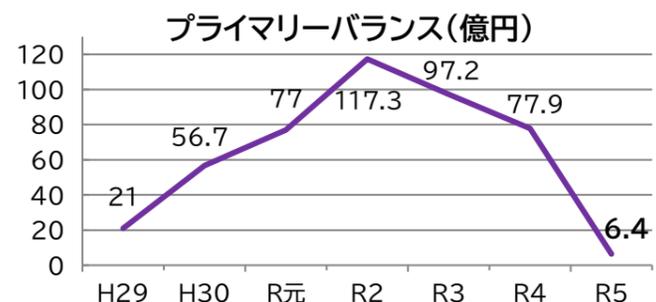
◆新学校給食センター整備や新ごみ処理施設整備などの大型公共事業の事業進捗により、53億円増加した

⑤将来負担比率
 目標 90%以下



◆大型公共事業の事業進捗による市債残高の増により、3.7ポイント増加した
 ◆今後、新ごみ処理施設整備等の事業進捗により、市債残高が増加し、将来負担比率の増が見込まれる

⑥プライマリーバランス
 目標 黒字



◆収支均衡した財政構造の継続により黒字を維持したが、市債発行額が大きく増加したことにより黒字幅は減少した

4 取組成果(基金繰入に頼らない収支均衡した安定した財政構造を確立するための取組)

① 事業費の縮減

○事業費の見直し

H30 年度に予定されていた大型公共事業

事業名	現況	事業名	現況
文化会館整備事業	引き続き先送り	消防庁舎建設事業	整備済:北分署(R2) 川西分署(R3) 整備中:南消防署(R2~)
水道記念館保全活用事業	引き続き先送り	新学校給食センター整備事業	整備済(R5)
三秀園跡界限再整備事業	事業着手 (R6 基本構想策定)	フットボールセンター建設事業	整備済(R5)
みらくる亭大規模改修事業	民間譲渡(R4)	市立図書館リニューアル事業	整備済(R5)

物件費、補助費の一般財源額の縮減

個別予防接種の積極的勧奨の再開や物価高騰による光熱費等の増 (単位:百万円)

	R1 当初予算	R2 当初予算※	R3 当初予算	R4 当初予算	R5 当初予算
一般財源額	14,585	13,925	13,553	13,730	14,509
目標額	14,802	13,495	13,495	13,495	13,495
差	▲217	430	58	235	1,014

※会計年度任用制度の導入による賃金廃止のため見直し

○補助金の見直し

- ・H31 年度から実施した団体補助金の一律削減(10%)は、令和 5 年度で終了した。
 - ・令和6年度の団体補助金については、各所属を通じて対象団体に聴き取りを行うなど、丁寧に状況把握を行った結果、以下の対応としている
- 増 額: 6件(会費値上げや団体等からの持出しがあったもの)
- 減 額: 1件(新型コロナウイルス感染症対策で臨時的に増額していたもの)
- 現状維持:101件(活動に支障がなかったもの)

○繰出金の見直し

国民健康保険特別会計※1、下水道事業会計への繰出金縮減額 (単位:百万円)

	R1 当初予算	R2 当初予算※2	R3 当初予算	R4 当初予算	R5 当初予算
国民健康保険	50	100	100	100	50
目標額	50	50	50	50	-
下水道事業	100	100	100	100	100
目標額	100	100	100	100	100

※1 累積赤字解消分 ※2 国民健康保険特別会計の黒字化に伴い縮減幅を増(R2~4)

○その他

福井市総合行政システム関連経費(本体契約金額)の削減

- 第1~2期(H22~R1) 運用平均額 8.00億円
- 第3期(R2~6) 運用平均額 7.12億円

継続借地料の見直し

- 固定資産税評価替え(3年ごと)に合わせて借地料を改定
- R3 630,628 千円 (H30 比 約▲35,000 千円)

② 総人件費の縮減

○職員数の適正化

職員数(人)	R1	R2	R3	R4	R5
実配置数	2,327	2,312	2,268	2,274	2,261
計画値	2,338	2,325	2,300	2,287	2,268
差	▲11	▲13	▲32	▲13	▲7

○級別職員数の適正化

昇任に係る必要在位年数の見直し

R1年度の昇任時から 4級(副主幹) 4年→5年、5級(主幹) 5年→4年

昇任に係る試験運用の見直し

R2年度の昇任時から 選抜試験を課長補佐昇任時 → 主幹昇任時

○等級別基準職務表の適正化

職務と給料等級が適正となるよう見直し

R1年度の昇任時から 副理事 8級 → 7級(職責に応じて)、課長補佐 6級 → 5級

8級、6級職員数の推移

職員数(人)	H30	R1	R2	R3	R4	R5
8 級	49	36	26	27	35	32
6 級	306	288	221	203	187	178

○働き方改革の取組推進

・R3、4は、新型コロナウイルス感染症に係る保健所業務やマイナンバーカード業務の全庁応援体制により増

時間外勤務の総時間数

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
総時間数	369,511	300,135	271,890	224,690	266,226	275,670	272,366
H29比	-	▲69,376	▲97,621	▲144,821	▲103,285	▲93,841	▲97,145

○給与体系の見直し

給料表の運用の見直し

- ・給料表の号給継足し R1 年度から廃止
- ・現給保障 R1 年度は2分の1、R2 年度から廃止

各種手当の見直し

- ・保育業務手当、幼児保育手当 R1 年度から月額 → 日額 に変更
- ・汚染作業手当 R3 年度から廃止

③ 施設管理経費の縮減

○施設マネジメントアクションプラン

・R1年度に施設マネジメントアクションプランを策定し、施設再編を推進 ※詳細は資料2

(単位:m²、施設)

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
総延床面積	1,006,764	1,002,538	989,656	980,623	962,186	958,093
前年度比	-	▲4,226	▲12,882	▲9,033	▲18,437	▲4,093
総施設数	396	392	387	380	375	368
前年度比	-	▲4	▲5	▲7	▲5	▲7

取組内容

④ 投資的経費の抑制

○大型公共事業(p2 ①事業費の縮減 事業費の見直しのとおり)

○投資的経費の縮減

普通建設事業費(一般財源)

(単位:百万円)

	R1 当初予算	R2 当初予算	R3 当初予算	R4 当初予算	R5 当初予算
一般財源額	674	888	1,097	1,349	1,066
目標額	911	910	910	910	910
差	▲237	▲22	187	439	156

- ・R3 私立教育・保育施設等整備補助事業、福井駅(東口)拡張施設整備事業等の増
- ・R4 新ごみ処理施設整備事業 及び 市街地再開発事業等支援事業の事業進捗、北部地域学校規模適正事業 及び 市立図書館リニューアル事業等の事業着手による増
- ・R5 新ごみ処理施設整備事業 及び 市街地再開発事業等支援事業の事業進捗、新学校給食センター整備事業の事業着手による増

取組内容

⑤ 公債費の縮減

○市債の新規借入額の抑制

・投資的経費(普通建設事業費)の増加に伴い新規借入額が増

(単位:百万円)

	R1	R2	R3	R4	R5
新規借入額 (交付税措置なし分)	3,817 (1,173)	4,856 (501)	3,455 (170)	6,942 (1,178)	14,539 (5,507)
目標額	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
差	▲1,183	▲144	▲1,545	1,942	9,539

○繰上償還の実施(福井市財政再建計画に掲げていない取組)

・後年度の公債費の負担軽減のため、決算剰余金の一部を財源に繰上償還を実施
R4 1,407 百万円 、 R5 714 百万円

取組内容

⑥ 歳入の確保

○収納率の向上

現年度課税分の市税収納率

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
収納率(%)	98.9	99.2	99.2	98.9	99.6	99.5	99.5
目標値	-	99.0	99.2	99.4	99.5	99.5	99.5

○入湯税の見直し

・R3.4 月から税率を 100 円 → 150 円に改定(新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、改定時期を6か月延長)

	R2	R3	R4	R5
入湯税額(千円)	27,029	62,177	74,237	86,971
R2 比	-	35,148	47,208	59,943

○使用料等の見直し

- ・許可事業者がクリーンセンターに搬入する一般廃棄物処理手数料の減免措置 平成30年度に廃止
- ・消費税引上げ(R1)や物価高騰等による市民生活への影響を鑑み、施設使用料高齢者減免の見直しは保留

○財産収入の確保

施設名	方向性	検討内容	実績
ジュニアグラウンド	売却	全敷地を売却	売却 1,156,588 千円
大和紡績跡地	貸付	民間提案制度を活用し、未利用地のうち一部を貸与	民間提案制度を活用し募集したが、成立事案なし
市庁舎地下食堂スペース	貸付	公募によりコンビニ等を誘致	貸付 約 2,000 千円/年

取組内容

○その他収入の確保

ふるさと納税の推進

(単位:千円)

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
歳入	118,235	317,282	316,840	375,209	345,640	443,474
歳出	36,423	113,377	111,307	152,238	168,523	215,085
歳入-歳出	81,812	203,905	205,533	222,971	177,117	228,389

広告料収入、ネーミングライツ

(単位:千円)

H30	R1	R2	R3	R4	R5
17,570	13,167	13,027	11,621	13,352	11,840

○収益事業収入の増額

競輪特別会計からの繰入金

(単位:百万円)

H30	R1※	R2	R3	R4	R5
100	0	170	150	230	330

※新型コロナウイルス感染症の影響により全国の競輪場で開催中止等となり、売上が大幅に減少

施設名称	延床面積	方向性	進捗状況(第1期期間)					これまでの取組内容 ※最新の状況を記載
			R元	R2	R3	R4	R5	
1 旧越前保健センター	348㎡	転用						令和元年度から福井市健康管理センター及び清水健康管理センターへ機能を集約化し、既存施設は越前公民館に転用した。
2 おさごえ民家園	1,165㎡	コスト削減						令和元年度から管理体制の見直しを行った。
3 地域交流プラザ	9,710㎡	複合化(維持)						令和元年10月から市庁舎第2別館の庁舎機能を複合化した。
4 国民宿舎鷹巣荘	1,864㎡	民営化						公募型プロポーザルを実施し、令和2年度から民営化した。
5 野外趣味活動施設(フィッシングセンター跡地)	436㎡	機能廃止						令和2年度から機能を廃止し、同年度から財産有効活用民間提案制度(以下、民間提案)により事業者から利活用の提案を募集しているが、現時点で応募はなし。
6 越前水仙の里公園(浜北山町)(水仙ミュージアム)	1,492㎡	機能廃止						令和2年度から機能を廃止し、同年度から民間提案により事業者から利活用の提案を募集しているが、現時点で応募はなし。
7 きらら館	1,350㎡	集約化(維持)						
8 清水社会福祉センター	1,268㎡	集約化(廃止)		解体済				令和2年度からきらら館へ清水社会福祉センター及びマイドーム清水の機能を集約化した。清水社会福祉センターは令和2年度に解体した。(マイドーム清水は令和6年度に無償譲渡)
9 マイドーム清水	993㎡	集約化(廃止)						
10 マイファーム清水	120㎡	コスト削減						マイドーム清水の廃止に伴い、指定管理者制度の導入をやめ、財政負担がないよう管理運営内容の見直しを行った。
11 越前公民館	1,296㎡	複合化(維持)						令和2年度から越前公民館へ庁舎機能を複合化した。
12 越前総合支所	1,121㎡	複合化(移転)						旧越前総合支所は今後解体する予定である。
13 順化小学校	6,356㎡	複合化(維持)						令和2年度から順化小学校へ公民館機能を複合化した。
14 順化公民館	1,084㎡	複合化(移転)			解体済			旧順化公民館は令和3年度に解体した。
15 中藤屋内運動場	1,688㎡	コスト削減						令和2年度から他のスポーツ施設に合わせて指定管理者制度の導入を行った。
16 企業局庁舎(現上下水道局庁舎)	5,302㎡	利用促進						ガスショールームの利活用に向けて、令和元年度に公募により民間事業者を選定し、令和2年7月から令和6年3月まで当該箇所を貸付した。(現在は会議室として利用)
17 芦見生涯教育施設	2,435㎡	利用促進						未利用スペースの利活用に向けて、令和元年度民間提案により民間事業者を選定し、令和2年7月から当該箇所を貸付している。
18 旧足羽保育園	963㎡	集約化(廃止)			解体済			令和2年度に倉庫機能を集約化し、既存施設は令和3年度に解体した。土地は公募により令和5年度に売却した。
19 旧麻生津西保育園	559㎡	集約化(廃止)					売却	令和2年度に倉庫機能を集約化し、既存施設は令和4年7月に売却した。
20 研修センター	1,851㎡	機能廃止			解体済			令和3年度から機能を廃止し、同年度に解体した。土地は公募により令和5年度に売却した。
21 みやま長寿そば道場ごっつおさん亭	525㎡	機能廃止						令和3年度から機能を廃止し、同年度から民間提案により事業者から利活用の提案を募集しているが、現時点で応募はなし。
22 そば工房木ごころ	75㎡	機能廃止						令和3年度から機能を廃止し、従前からの管理運営団体に貸付している。
23 森田分遣所	150㎡	集約化(廃止)			解体済			整理統合に向けて、令和2年度に北分署を建設した。森田分遣所は令和3年度に解体した。
24 河合分遣所	158㎡	転用						河合分遣所は令和3年度から河合分団本部に転用した。
25 治水記念館	738㎡	集約化(廃止)						令和3年度から防災センターへ機能を集約化した。既存施設は学童保育施設として一部活用している。
26 清水健康管理センター	3,078㎡	複合化(維持)						令和3年度から清水健康管理センターへ庁舎機能を複合化した。
27 清水総合支所	2,916㎡	転用						旧清水総合支所は倉庫に転用した。
28 一乗ふるさと交流館	498㎡	転用						令和3年度から一乗ふるさと交流館を一乗公民館に転用した。
29 一乗公民館	285㎡	転用(移転)			解体済			旧一乗公民館は令和3年度に解体した。
30 少年自然の家	4,717㎡	コスト削減						令和3年度から指定管理者制度の導入を行った。
31 文化会館	5,439㎡	方針決定						新文化会館が開館するまでの間、フェニックス・プラザを代替施設とし、令和2年度末で閉館した。既存施設は現在解体工事中である。
32 すかっとランド九頭竜	8,901㎡	方針決定						令和3年6月から機能を廃止し、同年度民間提案により民間事業者を選定し、令和5年10月から施設の一部を貸付している。
33 美山森林温泉みらくる亭	3,671㎡	民営化						公募型プロポーザルを実施し、令和4年度から民営化した。
34 国見岳休養施設	728㎡	集約化(廃止)					解体済	令和3年度に「国見岳森林公園の設置及び管理に関する条例」を廃止し、既存施設は令和4年度に解体した。
35 大安寺分遣所	82㎡	転用						整理統合に向けて、令和3年度に川西分署を建設した。大安寺分遣所は令和4年度から大安寺分団本部に転用した。
36 鶯分遣所	133㎡	転用						鶯分遣所は令和4年度から鶯分団本部に転用した。
37 大安寺キャンプ場	111㎡	機能廃止						関係者の理解等が得られたため、令和5年度に機能を廃止し、既存施設は令和5年度に解体した。
38 川西テニスコート	42㎡	機能廃止						関係者の理解等が得られたため、令和5年度に機能を廃止し、既存施設は現在解体工事中である。
39 美山デイサービスセンター和貴苑	1,051㎡	機能廃止						令和4年度に民間譲渡の公募を行い、西棟は譲渡先が決定した。応募がなかった東棟については、今後、解体する予定である。
40 SSTらんど	846㎡	集約化(廃止)						令和4年度に民間譲渡の公募を行い、譲渡先が決まったことから、令和5年度から民営化した。
41 リズムの森	685㎡	方針決定					解体済	関係者の理解等が得られたため、方向性を集約化(廃止)とし、令和5年度に機能を廃止し、既存施設を解体した。
42 美山庭球場「ウイंक」	158㎡	方針決定						関係者の理解等が得られたため、令和5年度に機能を廃止した。

※旧市民福祉会館、さつき児童館、東部保育園については、平成30年度に解体済。

(4月1日時点)

項目	H30	R元	R2	R3	R4	R5
総延床面積(396施設(H30)の推移)	1,006,764㎡	1,002,538㎡	989,656㎡	980,623㎡	962,186㎡	958,093㎡
面積増減前年度比(累計)	-	△4,226㎡ (△4,226㎡)	△12,882㎡ (△17,108㎡)	△9,033㎡ (△26,141㎡)	△18,437㎡ (△44,578㎡)	△4,093㎡ (△48,671㎡)
総施設数	396	392	387	380	375	368
施設数増減前年度比(累計)	-	△4 (△4)	△5 (△9)	△7 (△16)	△5 (△21)	△7 (△28)

延床面積の減少の考え方
・延床面積の減少は、当該施設における関係条例が廃止又は改正されるなど課題が整理され、かつ民営化や機能廃止など公用又は公共用としての役割を終えた時点とする。
・第1期では、計画の対象となる396施設(H30時)の延床面積3万㎡を削減目標としている。

今後新たに整備予定の施設
・新学校給食センター
・新ごみ処理施設
・九頭竜中学校等